

## #38 Final Project (2)

# Social Problems

～ Writing ～

講師  
工藤 洋路  
(学習メモ執筆)

### 今日の学習のゴール

1. 設定を考えながら、スピーチに書くべきアイデア (情報や考え) を出す。
2. 「主張・意見」だけでなく、事例など、具体的な内容もしっかり書く。
3. 英語で下書きを書いてみる。



右から、講師の工藤洋路先生、じえいそんさん、川口ゆりなさん

### ファイナル・プロジェクト

第37回から第41回の5回は、次の通り、ファイナル・プロジェクトになります。最後はスピーチを行います。今回は、スピーチの原稿を書き始めていきたいと思います。

- 1回目：Social Problems (Reading & Listening)
- 2回目：Social Problems (Writing)
- 3回目：Social Problems (Editing & Grammar)
- 4回目：Social Problems (Rehearsal)
- 5回目：Social Problems (Presentation & Interaction)

### 今回の学習

- ① スピーチの設定を確認する
  - ➔ International High School Students Speech Contest でのスピーチ
  - ➔ 日本の高校生の代表 (a representative of Japanese high school students)
  - ➔ スピーチのお題は "What high school students can do for a better society."
- ② 選んだトピック (= 選挙権) についてアイデア (情報や考え) を深める  
(以下は、ゆりなさんが選挙権について出したアイデア)
  - すべての世代で公平さを保証することが大事
  - 選挙権の年齢を下げることで、若い世代の意見が反映されやすくなる
  - 18歳に下げられたことで、若い人たちが、もっと自分の国のことを知ろうと思う
  - 例えば、買い物の際に支払っている消費税に注目すれば、税金の仕組みについてもっと知りたいと思うようになる
  - たとえ選挙に行かなくても、選挙権を持っていることで、いろいろと社会のことに興味をもつようになる
  - 選挙は直接は政治家を決めるための手段だが、選挙権を持つということは、社会に対する自分の知識を広げるチャンスをもたらえたということ

このページ掲載の文章・画像の無断転載を固く禁じます。

## ③ スピーチの構成を考える

「意見・主張を述べる」→「具体例を出す」

## ④ 英語で下書きを書いてみる 〈ゆりなさんの例〉

Having the right to vote means that you are given a chance to learn what your society is like. Now, people who are over 18 are given the right to vote in Japan. In more than 90% of all the countries in the world, people can vote at the age of 18. Now, Japan is one of them. Many 18-year-old people in Japan are high school students. By having the right to vote, they will become interested in the society they are living in. For example, they would want to know why they have to pay a consumption tax when they buy something.

## Door to Success

## 説得力のある文章の書き方

- ① 内容のインパクトが強い文章は説得力がある
- ② データ（数字）があると、客観性が生まれるので説得力が増す
- ③ 自分の意見とは違う意見にあえて触れ、それに対する反論を行うことができれば説得力が増す

## ■ ゆりなさんの例

- 自分の意見：18歳に選挙権を与えることに賛成
- 反対の意見：18歳に選挙権を与えることに反対
- 反対の理由：18歳だとまだ若すぎる

Some people may say that they are too young to be given the right to vote.

～と言う人がいるかもしれない



But I don't think so.

- 反対意見への反論：18歳の人でも、選挙権があれば、社会に興味を持つ



## You Know What?

## 日本に来てビックリ! (外国人旅行者の声)

今、日本政府は、日本を観光先進国にしようとさまざまな取り組みをしています。日本の観光地の多くでは、いろいろな国からの観光客の姿を見かけることが多くなってきています。

さて、その外国人観光客は、日本に来てどのようなことに驚いているのでしょうか？ じえいそんさんによると、外国人観光客の多くが、まずは富士山を見て、そのすばらしさに驚くそうです。また、京都にもたくさんの観光客が訪れますが、歴史があつて、荘厳な造りのお寺や神社にもビックリするそうです。さらに、日本の日々の生活の中での身近なことにも驚くことがたくさんあるとのこと。

例えば、ファミリーレストランに行くと、多くの場合、おしぼりを出してくれます。外国人観光客はこれにとともに驚くそうです。英語で「おしぼり」は **hot towels** と言いますが、アメリカでは、高級レストランで出てくることはあっても、ファミリーレストランでは出てくることはないといいます。このように、長く日本にいる人にとっては何気ないことでも、海外の人にとっては驚くことがあるということですね。これ以外に、外国人観光客が日本に来て驚くことを、じえいそんさんが、挙げてくれます。

- 朝の通勤・通学の満員電車
- 電車の駅での発車メロディー
- 道路や通りがどれもきれいでゴミも少ない
- トイレがとても清潔
- タクシーのドアが自動

さらに挙げてくれたのは、「人がとても親切」とです。道を尋ねられたら、英語で答えられないからというものもあるかもしれませんが、目的地まで連れて行ってくれる人もいるとのこと。また、財布や携帯電話などを落としてなくしてしまっても、届けてくれる人がいるので、日本では大事なものが戻ってくるということに驚く外国人観光客も多いそうです。